

日越大学と ANA ホールディングスとの間の包括連携協定署名式
梅田大使御挨拶

キムソン・ハノイ国家大学総長

芝田 浩二 ANA ホールディングス上席執行役員

古田元夫日越大学学長

御来賓の皆様

- 御挨拶させていただく前に、一言申し上げます。今朝、チャン・ダイ・クアン国家主席の突然の逝去の報に接しました。これまで、日越大学を含む、日越関係強化へクアン国家主席が多大なる貢献をいただいたことに、御礼を申し上げますとともに、クアン国家主席の御家族と悲しみを心より共有し、魂の安寧をお祈り申し上げます。

(1分間の黙祷)

- 本日、日越大学と ANA ホールディングスとの間の包括連携協定の署名式の実現に御尽力いただいた全ての関係者に感謝を申し上げますとともに、日本政府を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。
- 日越大学は、高度人材及び産業人材育成を目指し、日越両国首脳の間での合意に基づき、開設された国際大学であり、日越両国の「広範な戦略的パートナーシップ」を象徴するプロジェクトです。
- 本年6月、クアン国家主席が国賓として訪日された際、両国首脳間で次の合意がありました。「日越大学が二国間の人材育成協力の象徴的な案件であることを認識し、健全な財政計画に基づいた同大学の学部課程の早期開設に向けて協力する」。このように日越両国の指導者は、日越大学を重視し、本大学の発展を心から期待しています。

- 本年は日越外交関係樹立45周年という記念すべき年にあたります。両国間の人材育成の象徴的案件である日越大学も3年目を迎え、更なる躍進が期待されます。ANAホールディングスはこれまで、インターンの受け入れなど、日越大学をサポートいただいています。
- 今般の包括連携協定の締結は、日越大学の更なる発展に向けた弾みとなるものであり、ANAホールディングスのご配慮に感謝申し上げます。
- 本日署名される包括連携協定を通じて、ANA ホールディングスと日越大学の連携が一層強化されることを心から期待します。
- 最後に、皆様の御健勝、日越大学の更なる発展、日越関係の一層の強化を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。(了)